

NATURE TALK

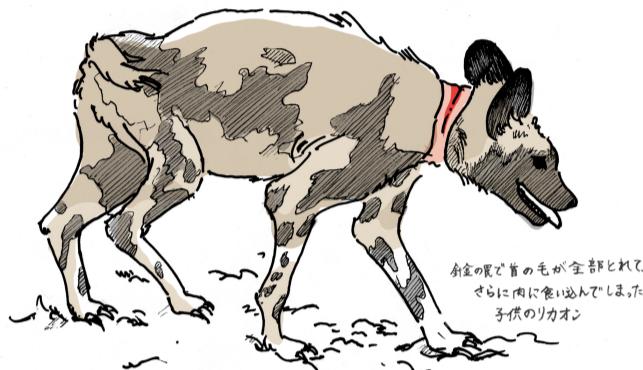
01

— 野生動物に迫る問題とわたしたちの選択 ① —

ネイチャートーク
2021年 7月号

密猟問題とは

南アフリカの問題とその対策について



2. Commercial Poaching

ふたつめは商業的な密猟です。サイのツノ、ゾウの牙、センザンコウのウロコなどはとても高く売れます。そのため、これらを目的とした密猟が数多く横行しています。

密猟は国際犯罪組織によって行われていて、現地の貧困層、国の汚職政治家、不正を働く取締隊なども関わって

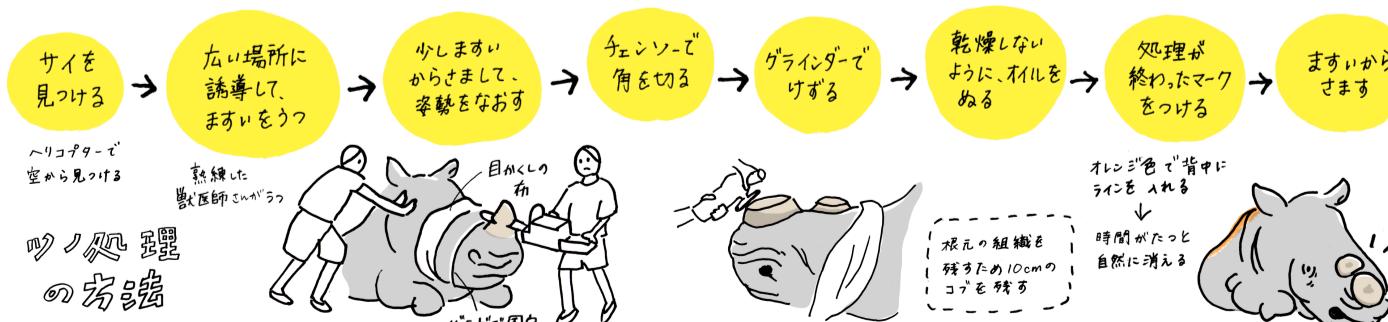
サイの密猟

世界にいる5種類のサイは、全てが絶滅の危機に瀕しており、そのうち2割以上がクルーガー国立公園^{※2}に生息しています。公園内のサイは10年間で70%も減少し、2021年1月にはシロサイ3549頭、クロサイ268頭になりました。

サイのツノは人間の髪や爪と同じ、ケラチンでできています。切っても痛みはありませんが、密猟者たちは顔の肉ごとえぐり取ります。保護活動のひとつである『ツノ処理』は、今の所とても有効な方法です。密輸組織のルートを捜査したり、需要がなくなるまでの時間をかせぐことが重要です。



- | 対策 | 問題点 |
|--|--|
| ・密猟取締隊がパトロールをする
・密猟者の少ない保護区に移動させる
・ツノに毒を入れたり、染色して価値を下げる
・ツノにマイクロチップを入れる
・ツノ処理（あらかじめツノを切っておく） | ・密猟者が銃を持っているので命の危険がある
・責任が重く、経済的負担が大きい
・観光客が減る
・個体識別用なのでGPS機能はない
・2~3年に一度必要
・密猟取締隊不足
・受入れ先不足
・資金不足
・サイへの負担など |



1. Subsistence Poaching

ひとつめは保護区などで地元の人が家族を養うために行なっている密猟です。地元には仕事がない、生活するのに困っている人がたくさんいます。そこで、こっそりと保護区に侵入し、安く買える針金の罠を色々な所に仕掛け、かかった動物を持ち帰ります。目的はインパラやイボイノシシですが、リカオンやライオンや象など、絶滅の危機に瀕している動物も被害にあります。罠にかかった動物たちは窒息したり、足をちぎられたりして死んでしまいます。獲物がかからなかった罠は放置され、危険は増えていきます。

この対策として、密猟取締隊が広いサバンナを歩き回り、ひとつひとつ罠を探し出して回収していくという地道な作業をしています。

います。しかし、アジア各国をはじめとする世界中で需要があることが、第一の問題です。

ワシントン条約^{※1}の調印前までは日本はサイのツノを世界一輸入していました。密猟の市場を大きくした責任があります。しかも、日本はまだ象牙市場を閉じていません。

何に使うの？

漢方薬（科学的根拠なし）・
装飾品・美術品として



どこに行くの？

ベトナム・中国など



『NATURE TALK』とは

私は岡山県に住む中学2年生です。昆虫や動物、山や海など自然が大好きです。

時々新聞やニュースで自然破壊や野生動物の問題を見かけます。アフリカなどの遠い場所の話のようですが、それは私たちの暮らしや日々の選択と無関係ではありません。

かわいそうな動物の写真に心を痛めながら、地球規模の気候変動に不安になりながら、知らないうちに実は自分もその悪循環に加担していることもあります。

『知つて 感じて 考えて 行動する』そのひとつのきっかけとなるようにこの新聞を発行します。

お話をうかがったのは

太田ゆかさん



南アフリカ政府公認の唯一の日本人女性サファリガイド。

密猟からサイの命を守るためにクラウドファンディングや、実際の保護活動も行なっています。リアルタイムでサファリを案内してくれる「バーチャルサファリ」が人気です。

『ワシントン条約』とは^{※1}

1973年にアメリカのワシントンで調印された条約です。別名を「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」と言います。国と国との間で行なわれる野生生物の取引のルールを定めた、国際条約です。

『クルーガー国立公園』とは^{※2}

南アフリカ共和国、北東部にある広大な鳥獣保護区です。四国よりも広い敷地に、希少な野生動物が生息しています。

もっと詳しく知りたい人は

太田ゆかさん

YouTube『Yuka on Safari』

WWF www.wwf.or.jp

ナショナルジオグラフィック
<https://natgeo.nikkeibp.co.jp>

WILDLIFE ACTION

love_yourlife_wildlife
 animal_me

NATURE TALK

<https://note.com/naturetalk>

⇒ 次回は『アフリカゾウの密猟』についてです。